

令和7年度 紀の川市立東貴志小学校 スクールプラン

紀の川市教育委員会

令和7年度

学校教育のテーマ

「一人一人の子供が主語となる
学校教育の実現をめざして」



保護者・地域の願い

- 児童が安心して楽しく通える学校
- 信頼できる学校
- 学校には可能な範囲で協力したい



【学校教育目標】

主体性と協調性を備え、自らの未来を拓き、
たくましく生き抜く児童の育成

【めざす児童像】＝校訓「正直・親切・仕事好き」

正直：正義感や公正さを重んじる心を持ち、ルールやマナーを大切にすること

親切：温かい心・豊かな心・思いやりの心・感動する心・生命や人権を大切にすること

仕事好き：進んで学習や作業に取り組むこと

前年度の学校評価

- 「信頼される学校づくり」→学校・教職員の日々の実践が、保護者・地域を含む一体的な取組となり、高い評価を得ている。
- 「確かな学力の向上の育成」→ICT機器を効果的に活用しながら、児童が楽しく主体的に学ぶことができるような授業づくりができた。

児童の実態

- 素直で優しい
- 規律ある集団行動ができる
- 異学年交流が浸透してきた
- 主体的に学ぶ意欲がやや弱い



めざす教師像 信頼される教師・学び続ける教師・人間性豊かな教師

授業力向上に関する本年度の研究主題

主体的・対話的で深い学びのある授業づくり
～ICTの効果的な活用を通して～



学校みんなの「あいことば」(合い言葉・愛言葉)

みんなちがってみんないい
～自分も仲間も大切にする東貴志小学校～

重点目標

具体的な取組

指標

確かな学力の育成

- ◎学習規律の確立・学習風土の醸成
- ◎効果的なICT機器の活用
- ◎児童が楽しく主体的・対話的に学ぶための授業実践・検証
- 定期的な復習・初見課題への挑戦(チャレンジタイム)
- 家庭学習の充実

- ☑県学習到達度調査正答率→県平均と同程度
- ☑児童アンケート「学校の勉強は分かりやすい」と回答する児童→90%以上

豊かな心の育成

- ◎「あいことば」の啓発により、自他共に大切にしている学校に
- ◎全教職員が全児童を担当している意識をもって児童に関わる
- ◎縦割り活動を推進し、児童が自己肯定感を強める機会を増やす
- 特別支援コーディネーターを中心に、個別支援・合理的配慮の具体の充実と共有を図る
- ふるさとへの親しみ・愛情の育成

- ☑児童アンケート「学校へ行くことが楽しい」と回答する児童→90%以上
- ☑いじめ解消率→100%

たくましい体の育成

- ◎規則正しい生活習慣の定着のため、家庭と連携した取り組みを図る
- ◎体育授業とおはようタイムによる運動機会の充実
- ◎発達の段階に応じた感染症対策への意識を高めさせ、健康で安心な生活を送ろうとする態度を育成する
- 食育の充実

- ☑保護者アンケート「規則正しい生活習慣が身につくよう努力している」と回答する保護者→90%以上
- ☑タブレット端末での健康観察→毎朝各自で実施

信頼される学校づくり

- ◎児童を中心に据えた、担任と保護者との日頃からの丁寧な情報共有
- ◎学校HP、連絡メール、学校だより、学年通信等による分かりやすく安心感を与える情報発信
- 学び、成長しようとする職員集団
- 管理職が学校の顔として保護者・地域との良好な関係性の基盤を構築する
- コミュニティスクール機能の充実

- ☑保護者アンケート「学校は教育活動等分かりやすく伝えている」と回答する保護者→90%以上
- ☑授業参観・学校開放への参加率→95%以上

◎：特に重点的に取り組むこと